2025 年 2 月 24 日

【中間報告】がん患者の経済的負担の実態調査

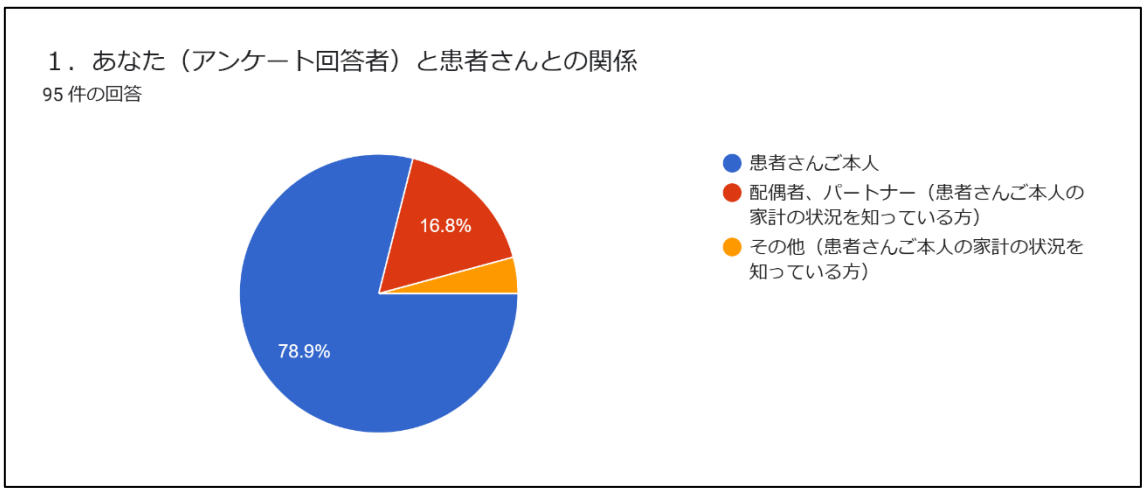
一般社団法人患者家計サポート協会

当初は 2/28 まで実態調査を行った後に集計・解析をしてからのご報告を考えておりましたが、今回途中経過を報告することになった理由は以下２つです。

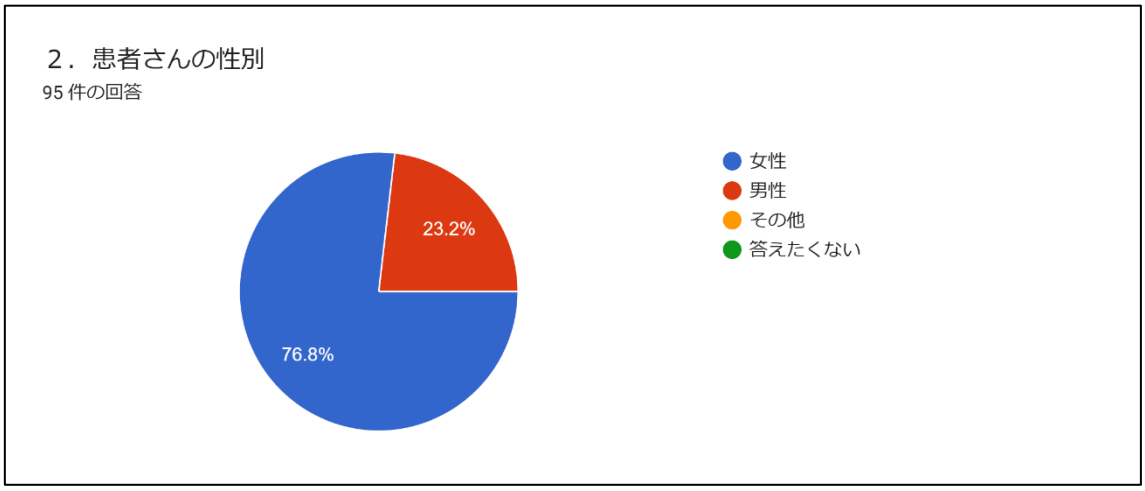
①より多くの方に知ってもらい、調査に参加してもらう、問題意識を高めてもらうため
②質問３７.「現在の高額療養費制度と引き上げについての思いを教えてください。」は今多くの方に知っていただく必要性を強く感じているため

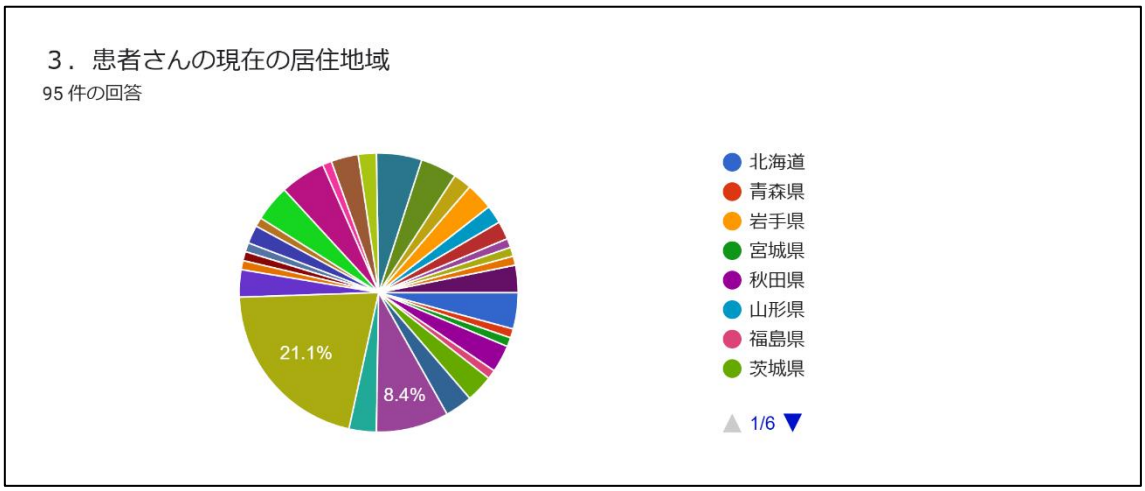
調査設計をしました患者家計サポート協会の中でも議論を重ね、以下の方法で中間報告をすることになりました。影響の大きいデータとなり、協会の意図としない使われ方をされてしまうと患者さんに影響を及ぼすため、利用する場合には協会に**「出典をつけること」「用途や表現内容を連絡」**の上、使用していただけるよう、お願いいたします。

調 査 期 間：2025 年 2 月 19 日～28 日
目　　的：がん診断時と治療中の収入の変化が、患者さんおよびご家族の医療費負担や日常生活に及ぼす影響を調査する。
対　　象：・がん患者さん、経験者（６９歳以下の方）
　　・ご家族やご遺族（患者さんご本人の家計の状況が分かる方）
方　　法：インターネット調査
中間集計日：2025 年 2 月 2 3 日（調査 5 日目時点 95 件の回答数）、公開可能な一部情報に限定



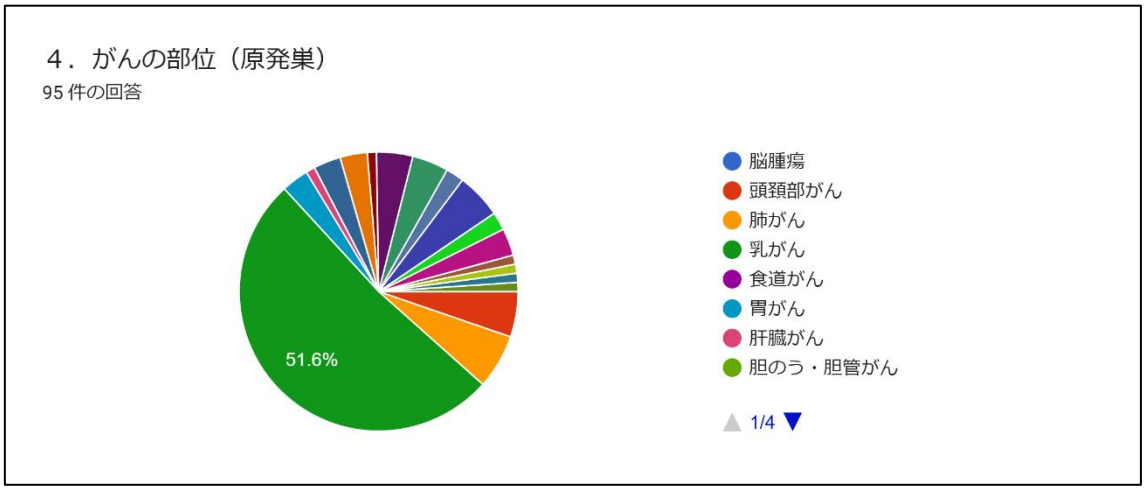
2025 年 2 月 24 日



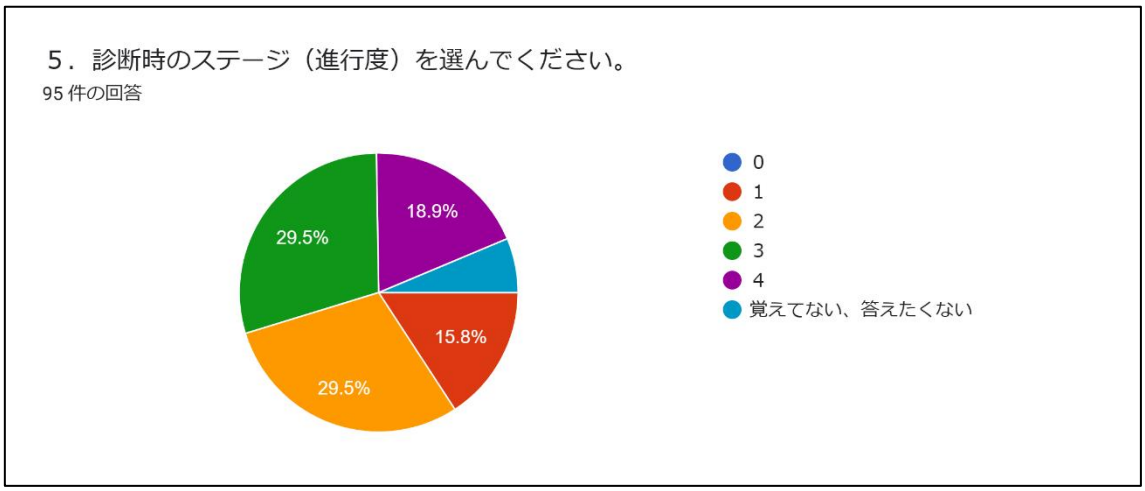


東京都 20 名、埼玉県 8 名、愛知県、大阪府、北海道 5 名、静岡県、兵庫県 4 名、
秋田県、茨城県、群馬県、千葉県、神奈川県、滋賀県、広島県、長野県 3 名
京都府、奈良県、香川県、福岡県 2 名
青森県、宮城県、福島県、新潟県、富山県、山梨県、岐阜県、三重県、長崎県、大分県、鹿児島県 1 名

2025 年 2 月 24 日



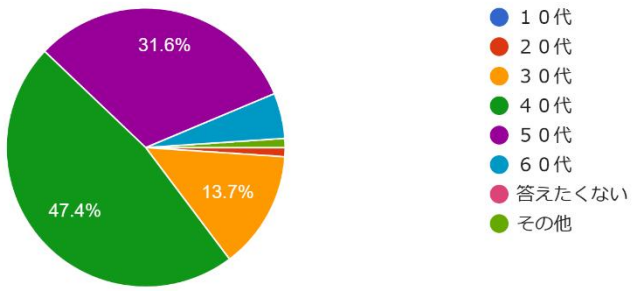
乳がん 49 名、肺がん 6 名、頭頸部がん、多発性骨髄腫 5 名、卵巣がん、白血病 4 名、
胃がん、大腸がん、子宮頸がん、肉腫 3 名
悪性リンパ腫、メラノーマ 2 名
肝臓がん、子宮体がん、すい臓がん、腹膜がん、卵管がん、真性多血症 1 名



2025 年 2 月 24 日

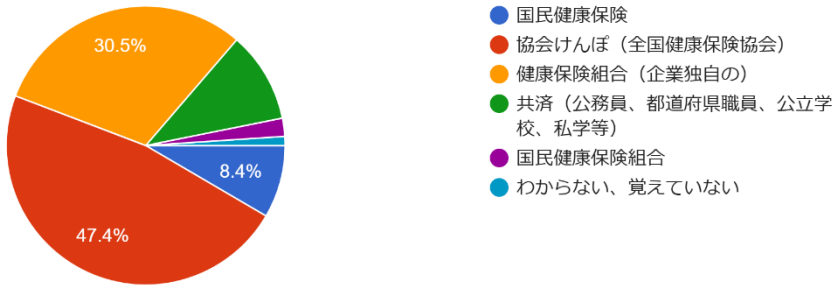
６．がんと診断された時の患者さんご本人の年代を教えてください。

95 件の回答



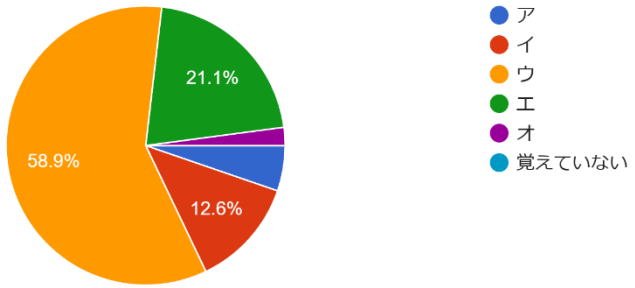
９．診断時に患者さんご本人が加入されていた健康保険（公的医療保険）を選んでください。

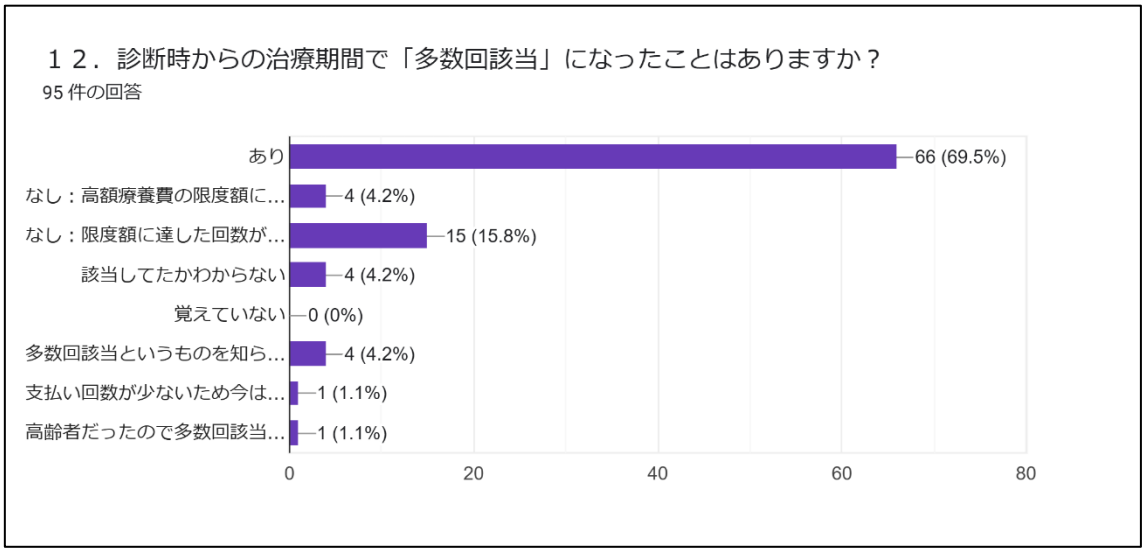
95 件の回答



１１．診断時の高額療養費の収入区分を ア～オ の中から選んでください。（画像の左）

95 件の回答

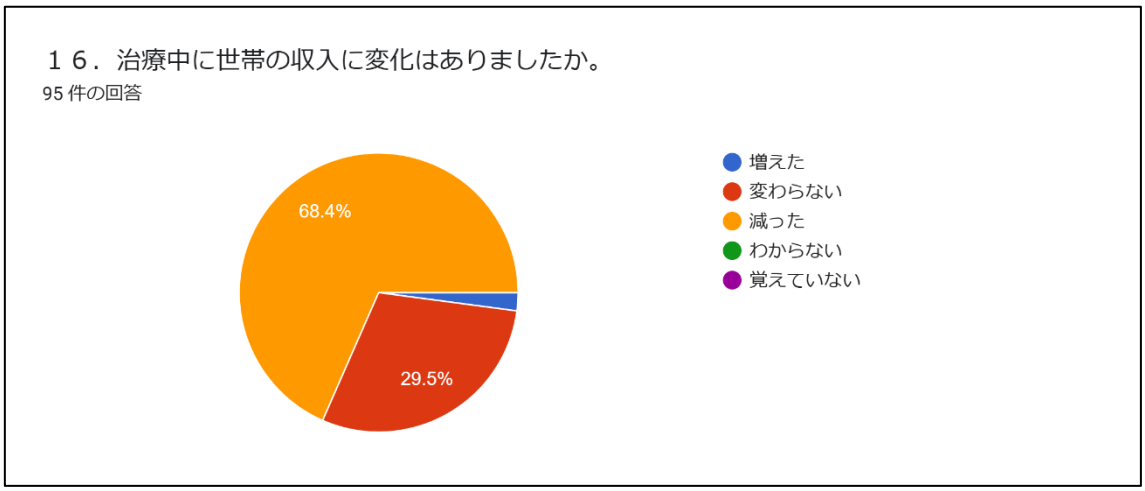




なし：高額療養費の限度額に達していないため

なし：限度額に達した回数が少ないため

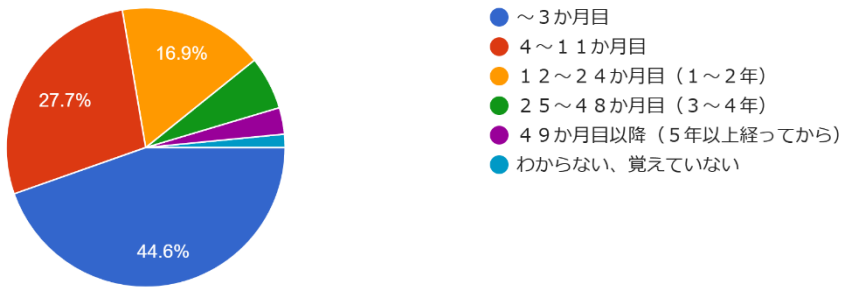
多数回該当というものを知らない



2025 年 2 月 24 日

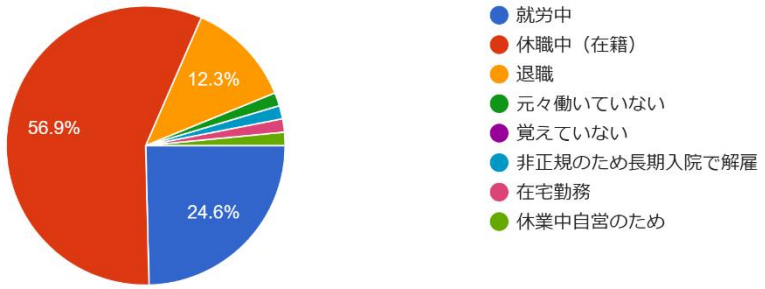
１７．治療中に世帯の手取り月収が最も減少したのは、治療開始から何か月目ですか。

65 件の回答



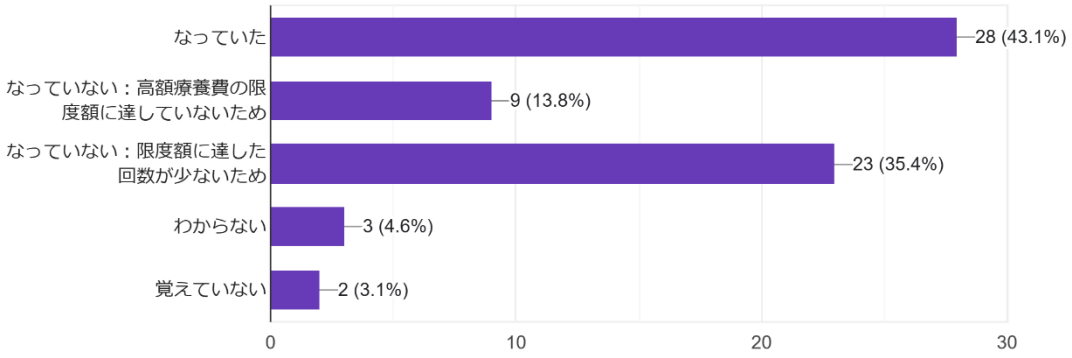
２１．　１７でお答えいただいた月の患者さんご本人の仕事の状況を教えてください。

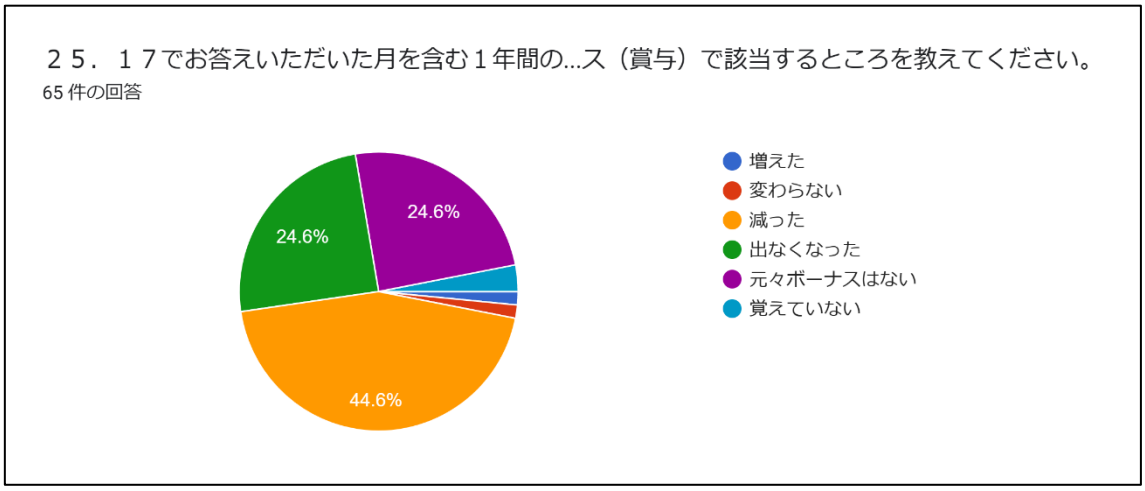
65 件の回答



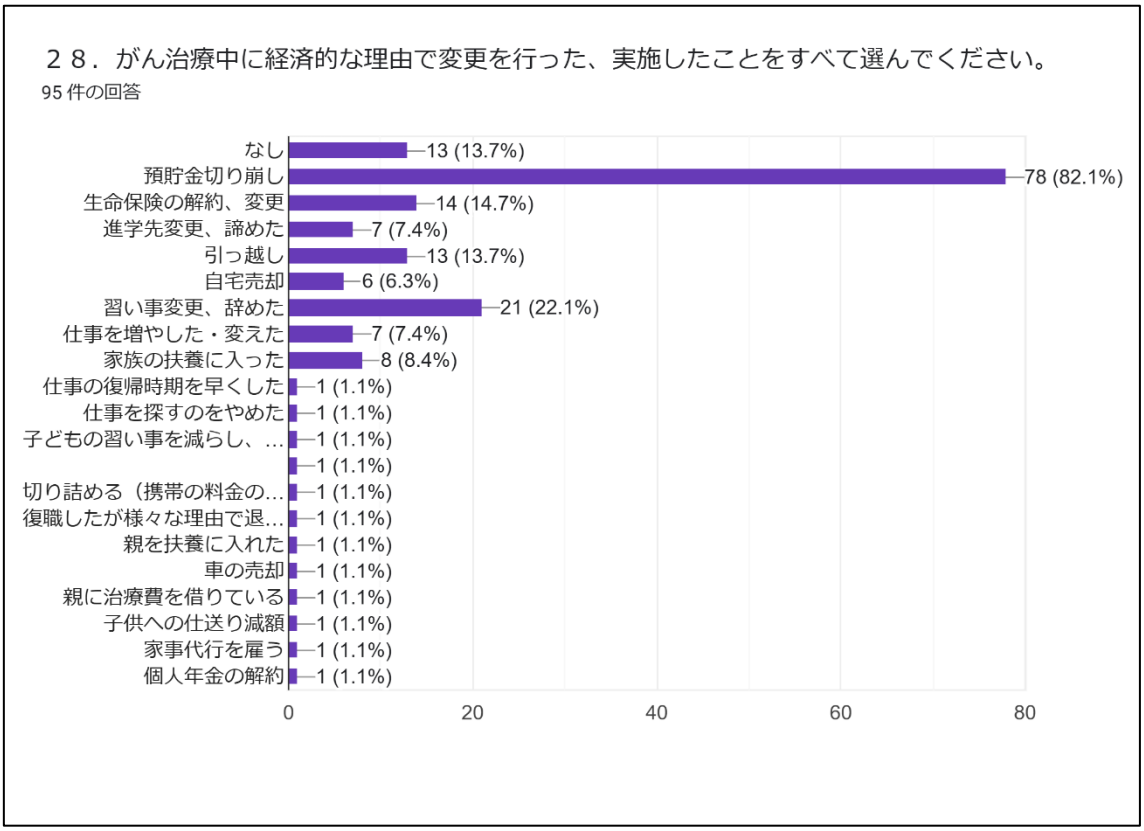
２４．１７でお答えいただいた月は多数回該当になっていましたか？

65 件の回答

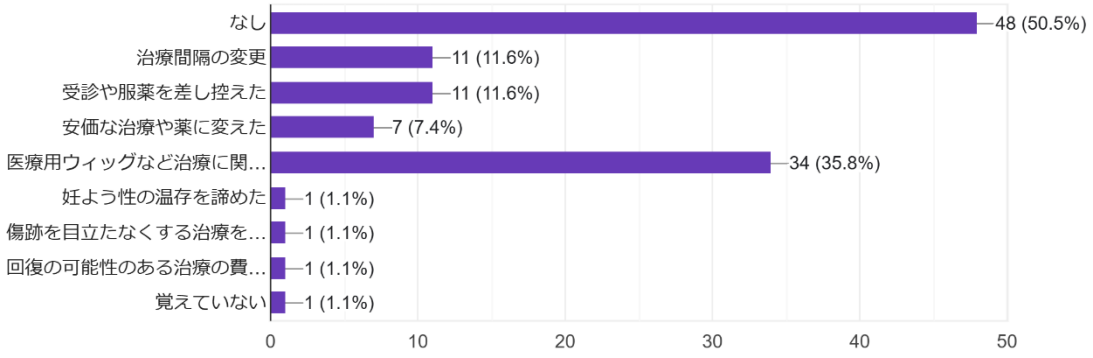




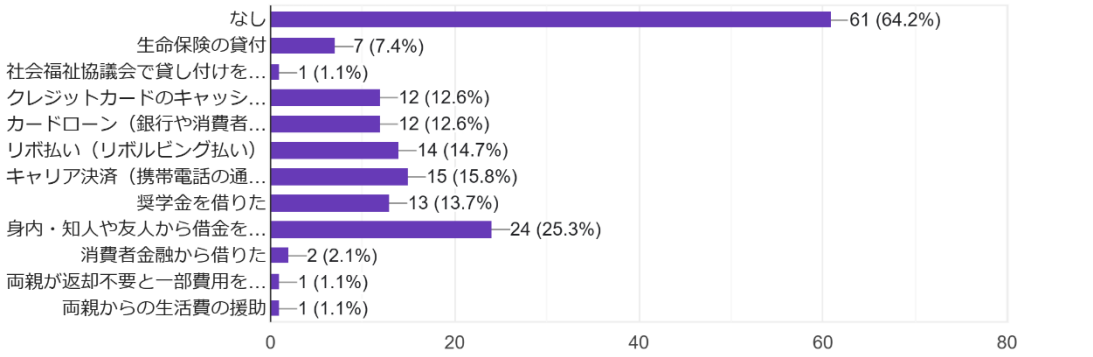
１７でお答えいただいた月を含む１年間のボーナス（賞与）で該当するところを教えてください。



２９．がん治療中に 経済的な理由で起きた、治療面での影響をすべて選んでください。
95 件の回答

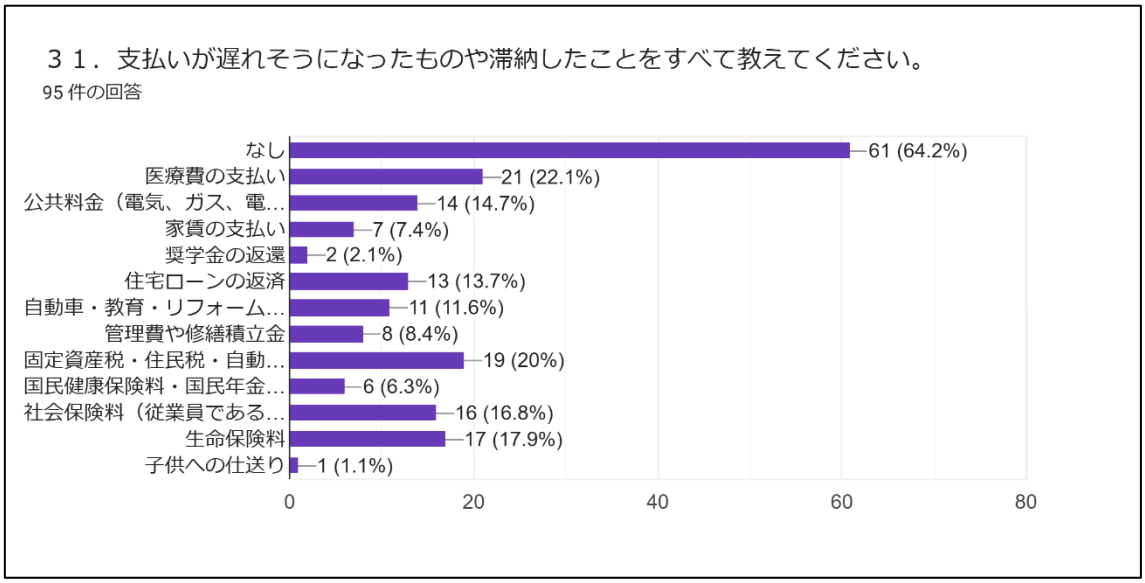


３０．治療中に経済的な理由で行ったローンや借金などをすべて教えてください。
95 件の回答



社会福祉協議会で貸し付けを受けた
クレジットカードのキャッシング機能
カードローン（銀行や消費者金融、信販会社など）でお金を借りた
キャリア決済（携帯電話の通信料金と合算して、商品やサービスの代金を支払うサービス）
身内・知人や友人から借金をした

2025 年 2 月 24 日

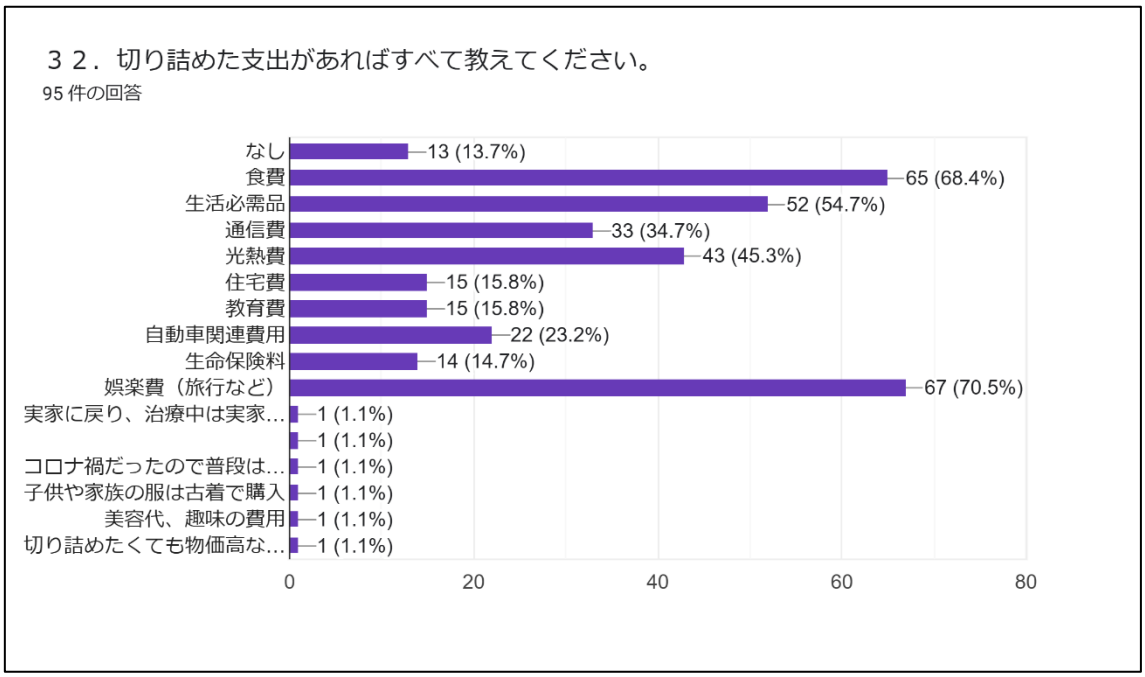


自動車・教育・リフォームローンの返済

固定資産税・住民税・自動車税など税金

国民健康保険料・国民年金保険料

社会保険料（従業員である自分自身が元々支払う分）

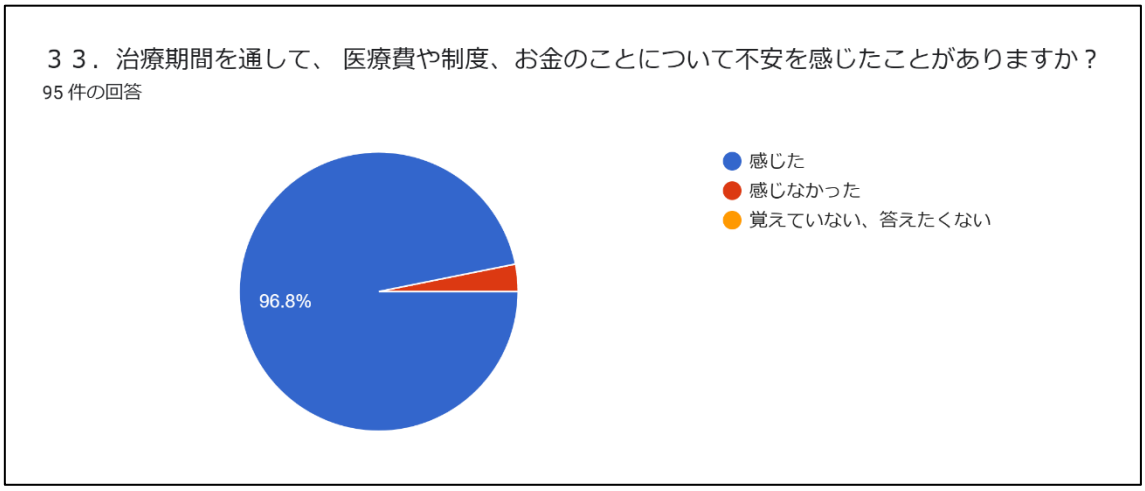


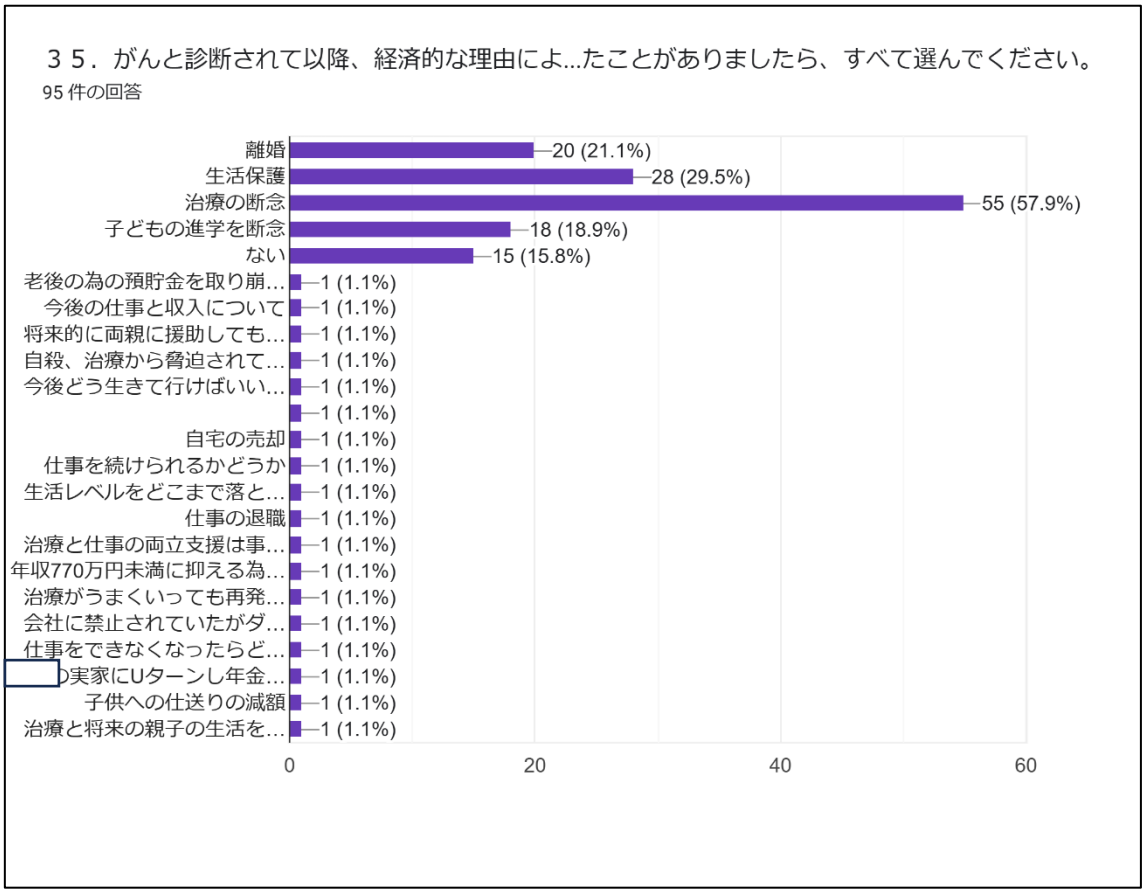
実家に戻り、治療中は実家にお金を入れるのを免除してもらった。

コロナ禍だったので普段はマスクを手作りの布製。コロナに怯えながら治療して生活した。

切り詰めたくても物価高なので切り詰め様がない

2025 年 2 月 24 日

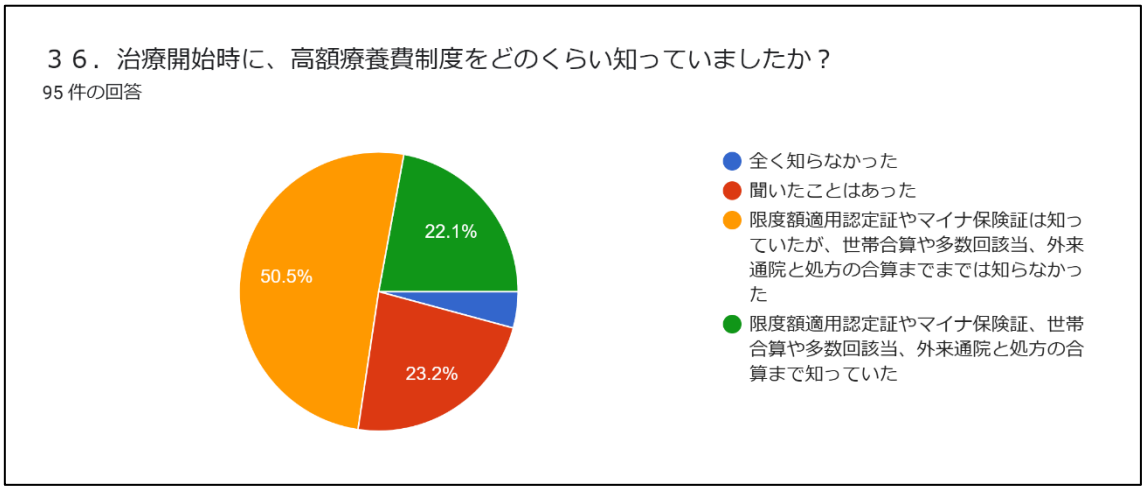




３５．がんと診断されて以降、経済的な理由により頭をよぎったことがありましたら、すべて選んでください。

老後の為の預貯金を取り崩していたので老後の生活が不安になりました。
将来的に両親に援助してもらうか

自殺、治療から脅迫されているという感覚
今後どう生きて行けばいいのか。未来が見えない
生活レベルをどこまで落とすか。老後資金
治療と仕事の両立支援は事業所の努力義務。離職につながった努力がついている政府の対策や会社で人として最低な対応をした人を憎んだ。
年収 770 万円未満に抑える為、役職昇格を断るなど。
治療がうまくいっても再発率が高いがん種のようなので、再発する前に仕事を辞めて住民税非課税世帯になった方が良いのではないかと考えてしまいます。
会社に禁止されていたがダブルワークしようかと思いました
実家に U ターンし年金生活の母親の扶養に入る
治療と将来の親子の生活を天秤にかけている様で嫌な思いをしている



３７．現在の高額療養費制度と引き上げについての思いを教えてください。（自由記載）

- ステージⅣなので治療法が尽きるまでエンドレス治療です。延命しながら新薬を待ちたいですが引き上げが行われた場合は難しいかもしれません。配偶者の収入と傷病手当があるので今すぐに困窮する事は無いですが、仮に病態が安定し長く延命出来そうとなっても体調よりも先に金銭面で限界が来そうです。国は治療抑制効果も見込んでたとの事ですので、完治根治が難しい私のような人は真っ先に切り捨て対象かと思うと絶望しかありません
- 現在、ギリギリ区分ウのところにおり、おそらく 2 段階目の引き上げでかなり負担が多くなります。現在の負担は概ね多数回該当に入っていない場合は約 10 万なので、このままでは多数回該当にいかないまま約 10 万の支払いが続くことになり、不安を持っています。
- 毎月の抗がん剤は 3 割負担でも月 15 万以上かかり、また治療は抗がん剤だけでなく高

価な吐き気止め、輸血、白血球の注射など数えたらきりがありません。しかしどれも欠かす事が出来ず高額療養費の上限が上がるとこれらを我慢して副作用と闘わなければならないかもしれません。命と生活を守る為にもこれ以上の上げに反対します。

- 確かに大変な額を負担してもらっているので心苦しいところがある。しかしまだやれるはずの他の見直し部分があるのにここを先に手をつけたのは納得できない。
- 夫が仕事ができなくなった場合の収入源をどうやって補っていくのか。住宅ローンあり、大学生の子供、小学生、障害者の娘ありで不安です。
- 大学生の残り 3 年の教育費と生活費位の貯蓄と老後と子供のために貯めた少しの貯蓄しかありません。医療費上がったらやっていけません。
- 病休で給与補償はありますが各種手当がなくなるため収入が 2／3 程度まで減りました。
- 10、11(手術)、12 月で 70 万の医療費がかかりましたが高額療養は一度も該当しませんでした。治療期間中は病前と同じ収入は難しく、治療開始時の一番検査や処置が多い時期は前年度の収入での区分です。上限額引き上げになれば最悪の場合　月 40 万 x12 ヶ月など治療費として払う状態になります。総額での上限額など望みます
- 1 億円以上持っている富裕層以外は完全据え置きにしてもらいたいです
- 現在も治療に使っている分子標的薬が普通の抗癌剤と違って高額過ぎてびっくりしています。最低 1 年間（18 回の治療）が必要であり毎月限度額の支払いが続きます。高額療養費制度の引き上げをされると治療継続が心配になります。
- がん検診を定期的に受けていた人なら高額療養費の限度を変えないといった配慮があってもいいようには思う。
- 新しい薬がどんどん出てくる事に期待しているが、費用が高くなるため、いつか治療を諦める時期がくるのか不安に思う。
- 今後も治療しながら昇進を目指していたが、負担があがるため、昇進試験を辞退した方がいいのか悩んでいる。
- ガンに罹患された方でないと分からないと思います。手術、切除、苦しい抗がん剤治療。苦しく辛くても命との引き換えなら！と頑張ってますが、乳管ガンだとオンコタイプＤＸの高額な検査（限度額適用にしてくれました）各検査や、抗がん剤代は高額です。超高齢で認知症の母は特養老ですが、親より先にはいけません。どうか、引き上げをやめて欲しいです。お願いします。
- 自己負担限度額が、所得が 370 万以上 770 万未満という、400 万円の幅があるのに、一律で同じ金額というのも納得がいきません。私は再発・転移防止のために、高額な薬を 2 年間飲む選択をしました。多数回該当の制度を利用していますが、家計を圧迫しています。それまでにも手術、入院、抗がん剤、放射線治療と多額の支払いがあり、高額療養制度が無ければ、治療を諦めていました。働けず収入も減り、子供の進学も不安です。

2025 年 2 月 24 日

- 私は付加給付のある共済だったので後から返ってくるとはいえ治療費を払うのは大変だった。治療を続ける為にも高額療養費制度の上限引き上げはなんとしても凍結して欲しい。再発転移したら治療を諦めざるを得なくなる。
- なぜ高額な治療になるか、根本的に考えてほしい。私は治験コーディネーターをやっていたので製薬会社のずるい部分も知っています。新たな効能だからといって調子に乗って薬価を上げてくる製薬会社、それを許容している厚労省、この 2 つが一番の悪。根本を見直せば医療費は減ることぐらい分かっているはず。報道もそこをもっとせまってほしい。皆保険の制度を悪用しているのは製薬会社だと思います。海外からの薬は仕方ないとしても
- 長期間の治療になり、収入減少と治療費が高額になり生命保険から給付されたとはいえ、かなり厳しい状況です。また再発したので今後免疫チェックポイント阻害剤での治療で高額になり、期間未定という事でますます不安を覚えます。
- 長期的にがん治療をされている方にとっての高額療養費制度は救いです。引き上げられる事で、希望する治療が受けられなくなる事はあってはならないと思います
- 今もギリギリです。体力もお金も。「金の切れ目が治療の切れ目」になる日本になるのでしょうか。
- 夫からはお金の無駄じゃんと言われ、医療費は自分の傷病手当から出すしかない。生活費の負担も変えてくれないので、もうやっていけない。上がったらどうなるのか。
- 今は多数回該当になるため負担が減っていますが、再発した時には医療費を払い続けられる自信はありません。多数回該当へのハードルも高くなりそうな事から、再発の不安と再発したとしたら、貯金を取り崩しながらの治療をしなければならない、そしてその後の生活の事を考えると不安しかありません。
- 乳がん骨肺肝転移があり、いつかは治療断念の決断するとは思っていましたがこんなに早く突きつけられるとは思いませんでした。もう少し生きていたかったです
- がん治療はお金がかかる。今後はアメリカのように民間保険に加入していないとがん治療は受けることができなくなるのではないか
- 治療薬ご高額で長期間の服用が必要だとはしらなかった。初回は貯金で何とかなりましたが、再発などあった場合は限度額でもなかなかたいへんになると思います。できる治療があるのに諦めねばならないのは辛いです。
- 現在多数回該当ですが、主人の定年、転職、退職と保険組合が変わった時改めてまた、数ヶ月高額療養費上限を繰り返し払うことになります。貯蓄はすべて子どもの学費と治療費に消えました。住宅ローンも抱えています。治療費か住宅ローンのどちらかというなら治療あきらめます。
- 障がい者年金は申請落ちました働けない患者からお金を取るのはおかしい。それなら元気に働いている人達から数百円ずつでも健康保険料を引き上げて回収すれば良いのではないか。体調不良の時は治療に専念出来る環境にして欲しい。

- 今は経済的に問題ないが、今後再発転移したときに必要な治療をあきらめることになるのは困るため、不安になっている。
- ろくな議論もなされず当事者の声も聞かず、命に直結する所に手を付ける前に、外国人の優遇等先に議論されるべき事があるはずである。
- 働けば働く程苦しくなる今の日本に未来も希望もなく絶望しかない。私は完治はないし離婚して生活保護になる位なら主人に申し訳ないので早く死んでしまいたい。
- 国保なので、働かないと治療も生活もできません。一人暮らしなのでやるしかないです。高額療養費が上がったらもう無理です。
- 現行の制度でも、あることでとても救われて感謝していますが、独身貧困女子の身にはガンの治療費は高額過ぎました。治療で働ける時間が減って給料は社会保険料を引いて手取り千円にもならない月もありました。傷病手当金がちょうど医療費と同額位で消えて、生活費が治療しながらのパート勤務で半分以下の給与しかなく、多額の借金を負っています。私にとっては、癌で死ぬ前に経済的に生きていられないと思っています。
- 純粋に家計の負担が増える話なので上がらないにこしたことは無い。ただ国の財政にも限りがあるので、すでに手を差し伸べてもらっている状態で単純に反対というのも主張しづらい。社会保障全体の改革の中で議論して欲しい。
- 現役世代の高額療養費利用者です。本人加入の健康保険の制度を利用していますが、今後仕事ができなくなった時に配偶者の扶養に入ると区分が上がります。収入が減る上に支払いも倍以上となると治療を続けられるのか不安です。
- せめて子供が成人するまでは生きていたいです。治療を続けたいです。現役世代の実情をもっと知ってもらいたいです。
- 乳がんで手術入院 14 日、退院の翌日から出社しました。抗がん剤治療中も点滴終了後に出社しました。残業もさせてもらい、何とか収入の変化なく、収入を治療費に当てる事で乗り切りました。これ以上の金額だと私には離婚、生活保護での治療しか思い浮かびません。がん保険に入ってなかったので自業自得もありますが、医療費をあげるなら民間の生命保険を必須にすべきかな
- 今回は働きながら治療が出来た為、経済的なダメージは無かったですが、ガンサバイバーは再発、転移等不安が常にあるなか、医療費が上がると、お金の事を気にして、治療に専念出来ないかもと懸念しています。癌に効く薬がある限り生きていけるのに、高価な薬だった場合、治療を諦めないといけない事があるかも知れません。安心して治療に専念出来る今の制度を変えないで欲しいです。
- 引き上げされれば治療を諦めたり生活保護に頼らなければならなくなる患者が増えるのは目に見えています。私も再発した場合そうなると思います。あまりにも酷い、と失望しています。
- 憲法第二十五条　すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。に抵触していると思います。継続して治療が必要な為に、心の負担に加えお金の心配と

なると、心労がストレスとなりより悪化すると不安になる。いかに大事な制度であるかを深掘りして欲しい。

- 乳ガンにかかり、治療はフルコース、今もベージニオ服用とホルモン治療中に、今回の引き上げのニュースに愕然としました。長期戦の治療が必要な患者の声は、お役人にしてみたら「他人事」でしかないんだと思います。私たちは生きていてはいけないのでしょうか、、、。
- 一律制限ではなく例えば後期高齢者等は引き上げても良いと思います。このままでは制度が破綻します。
- 命を救うための治療をお金の問題で諦めることがないようにしてほしい。長い道のりになることを知ってほしい。
- ステージ 4 で抗がん剤で治療をしています。高齢の両親に援助してもらっています。手取り 7 万で治療費が約 5 万。副作用で以前の様に働けません。傷病手当も使い切り障害年金 3 級を申請しましたがハードルが高く落ちました。病院で会う友人とは毎回治療費の話になり脳に転移して副作用で働くのが難しくなった友人は治療費を理由に治療することをやめました。もっと改善できるところがあるのに、なぜ命綱から改悪するのか怒りしかない
- 癌の治療は、とくに抗がん剤は医療費が高額になり、それが長く続きます。生活の切り詰めや子育て費用の再考など、癌とわかってから、治療と同時にすぐに考えなければならず、本当に不安で苦しかったです。その上引き上げされたら、治療以外の不安も増大します。引き上げは断固反対です。
- 長期の治療が必用な私ですが、病気をしたために新しい保険契約は出来ない状況です。にも関わらず今回の制度改悪は突然ハシゴを外されるような思いでおります。家族に迷惑をかけるくらいなら治療をを諦めようと思っています。
- 高額療養費があることは、手術が終わってから初めて知った。誰も教えてくれなかった。
- まずは先にやることがある。就労世代ではなく病院に受診する割合が高く寿命からしたら高齢者が順番的に先に天に召される事を考えたら医療費を一律 3 割にした方が良い。高齢者の延命治療や薬局で買えるものを止める。労働による所得を見られるが資産を持っている人からもらった方が良い。政治家の給料や手当を減らす。裏金を止めさせる。政府のやっている事は少子化対策や自殺防止や孤独対策の対応と真逆。
- 幸にして私は健保組合の付加給付や生命保険の給付があり、経済的に恵まれている。しかし、今回の単月上限額の引き上げを受けて、心底ぞっとしている。なぜなら上記のように経済的に恵まれた状況でなければ、困窮することが目に見えているからである。単月上限額を引き上げると多数回に該当しない人、そもそも高額療養費に該当しない人が間違いなく増える。それを政府は認識すべきだ。
- 高額医療費制度はとてもありがたい制度だと思っています。ガンは今や身近な病気だし、それ以外の病気や怪我もいつ誰がなってもおかしくないと思います。なのでこの制度と

今回の引き上げのことをもっとしっかりと広く知ってもらいたいです。

- 医療の進歩によりますます新薬が開発され、それはとても喜ばしいことであるのに、それを必要な人が高額のために使えないとしたらなんのための新薬かわからないです。
- 高額療養費があってもまさか自分が使うとは思ってなかった。使う立場になって始めて社会保険がありがたかった。なぜに高額療養費を引き上げなければならないのか。きちんとわかるように説明をしてほしい。
- 治療を諦めて死ねと言われている気がした。
- 今回は、高額療養費負担増による受診控え、またはできなくなる方がいる事を想定して、削減した場合の金額まで出されていた事に驚愕しました。今私の場合まだ周りにがんの人がいない孤独感、また、再発や転移したら薬は高額かもしれないという不安の中、更なる大変なストレス、孤独感、恐怖を感じました。部会から拝見していましたが、あくびされてる方や、病気になった方を責める発言も多く、私は大変傷つきました。凍結を求めます
- 収入が減るので、今の高額療養費があっても大変です。良い薬で何とか生きています。引き上げになったら止めないと家族が生活できません。余裕があるわけではないのです。
- 手術まで終わって、これから抗がん剤や放射線治療をやろうという段階で大幅に引き上げのニュース。正直、抗がん剤もやりたくないし、これで治療をやめてしまおうかと考えた。
- 収入も減って通院にも時間とお金がかかる。治療代は高額。働き世代、子育て世代、大学生の子供を持つ世代、まだまだこれから働いて税金を納めていける世代が苦しまないですむような配慮をして切に願う。
- 自分の場合、組合なので医療費は何とかなっても、生活費と子どもの大学費用の支払いが大変だった
- 貯蓄が無かったので、収入も減ってしまい、大変です。
- 癌になり通常勤務が困難で収入減の方が多いと思います。その上、医療費負担が増えるとなると、治療を断念せざるを得ないです。健康で働ける国民しか必要ない、納税できない国民は死ねと言っているようにしか思えません。
- 限度額認定証、高額療養費制度、治療が開始されてから病院窓口で説明されたので、支給まで時間の遅れがあった、開始前に手続きをすませたかった。高額療養費請求を毎月家族が行ったが、患者本人が行うのは、無理がある。マイナンバーカードが普及され、本人が初回のみ申請すれば保険組合側がその後行っていただけるとありがたい。最後の緩和治療含め、悔いのない治療が受けられ、この制度に感謝しています。
- 医療が発達して、癌になってもすぐには死なない時代です。ただその代わりに、一生治療が継続する場合もあります。その治療費は高額です。ですが、癌以前の働き方はできず、収入は減ります。癌の恐怖と経済的な恐怖が、一生つきまといます。高額療養費制

度を引き上げられたら、治療は断念するしかないのかな。と、何のために生きているのか分からない。

- 休職期間が終わり、退職するしか選択肢がなく、また、治療も長期に渡るため、高額療養費は有難い制度ですが、がん患者は障害年金等の制度も活用出来ないため、生活の安心は得られなかった。更に高額療養費が引き上げられれば、治療を続ける事は難しいと感じています。
- 働いて税金納める世代の療養費上げてどうするの笑。これじゃみんな離婚して生活保護受けるわ。高額療養費を上げるのではなく、他の制度見直しでもっと予算できると思うよ。もっと頭使って考えたら？政治家の人達
- 私は独身の会社役員です。入院で仕事を休んでも収入が変わることはありませんが、それでもがんの治療費は高額で先が見えないため金銭的な不安が大きいです。もし病気になったのが家族を養う従業員だったら？と考えると反対の声を上げざるを得ません。会社として従業員ががんになったら見舞金が出る保険に入ったりもしましたが、まずは国が不運にして大病を患った方が安心して治療に向き合える制度を整えて欲しいです。
- 引き上げ幅が大きすぎる。一気に何万もあげられたら生活が成り立たない。政府は重病患者には治療諦めて死んで欲しいのだと思った。限度額が高過ぎると超えなくなり多数回該当の恩恵も受けられなくなる。そうなれば引き上げ幅以上に負担額は増える。多数回該当だけ額を据え置けばいい話ではない。治療断念も見込んでの制度改正だと聞いた。制度利用者の治療断念は命断念と同意。国が国民の命を奪うなんておかしい
- 長期の治療になりそうで、高額療養費制度があり助かっていますが、それでも収入が減り限度額を支払うことだけでも困難な状況です。長期にわたる場合は、1 年以上などのもうひと段階軽減されると有り難いです。また、複数回該当前の 1%の上乗せでも、上乗せ部分が 7 万円くらいあり、実際はウの区分でも 15 万以上かかりました。ぜひ、長期の複数回使用の方により良い医療を受けさせて下さい。
- 子供が進学のタイミングで治療となり経済的負担が大きい中まともに働くこともできず、現在の制度でも進学先も選ばせられない。変更されたら治療すら諦める時が来るのかと思う。
- 現行の医療制度の無駄を見直さないまま、安直に現役世代の負担額を引き上げることには断固反対です。治療期間中私は運良く勤め先の付加金に助けられましたが今後高額療養費制度改悪に遅れてその上限額が見直されたり、更には組織の解体なども想定されます。それでも加入中の民間医療保険は雀の涙であり会社を辞めないが現実解です。子育てが終わったら退職して好きに生きるという選択肢も非常に難しくなり、絶望しています。
- ガンになり、身体にいいものを取り入れよう、移動の負担を減らそうと考えるとこれまでかかっていた支出より負担が増える結果となりました。医療費の負担がさらに上が

るのは、やはりしんどいです。

- 今の生活でいっぱいいっぱいなのに引き上げられたら本当に困る
- 私のがんが再発したら申し訳ないので生活保護になるために離婚するしかないと思っている。
- 今は健保なので良いけど、辞めたら上がる。検査は保険適用あるが治療は治験か自由診療になる事が多いらしく、それなら私には無理かな、と思ってます。私の体調はあまりよくないです。
- 緩和ケアで麻薬を処方してもらい飲み続けていますが、きついときは仕事を休んで一日中寝ていたりします。子どもの受験で塾行かせてあげたいけどどうしたらよいか。
- 付加給付や民間保険で賄える人がいても後日支給で 1 度は自分でまとまったお金を払う必要がありますし、そのような給付もいつまでも続きません。我が家は両家の親への仕送りや住宅ローン、物価高で生活は苦しいです。経済的理由で治療を諦める人が増えるのは悲しいです。少子化の日本で引き上げは仕方ないと思いますが長期に渡り治療をしている患者の声を聞いて上げ幅を再考してもらいたいです。
- 生存権を脅かすものだと思います。決して許されてはならない、改悪を止めたい、と思っています。引き上げは治療を諦め、離婚や自死など増える原因になります。絶対凍結してほしい
- がんの診断を受けた時はエで、翌月からウ。針生検、BRCA の検査、入院、手術、オンコタイプ DX、放射線治療で高額療養費を利用。私は今はホルモン治療中ですが、再発や転移、あるいは他の病気になったら…と考えると経済的に不安です。病気になったら働けず収入が減るのに。今健康な人が、これから病気になっても困らない制度であってほしい。治療法があるのに、命を諦めることがない世の中であってほしい。
- 治療をすれば働ける人も治療を諦め、人生を諦めろと言われているように感じます。誰もなりたくてなった訳ではありません。標準治療なのに受けられなくなる心配、不安が常にあります。
- 現在は高額療養費に達していませんが、両側乳がんのため再発・転移の不安があります。この改定が実施されてしまうと、今後確実に治療ができません。当時の正社員の仕事は完全復帰ができないため退職になり、現在は副作用が強いため残業ができず派遣社員で年収約 300 万円です。手取りは 20 万強、そこから家賃や光熱費、生活費、高騰する食材費、通院＆交通費を払うと 5 万も残りません。お金ない人は生きたらいけないのでしょうか
- 配偶者の治療中、本人に加え配偶者まで仕事を休むことが増え収入が減る中、何年も続く高額な医療費は今の高額療養制度でも相当厳しいものでした。以前、息子が小児がんになった時には付き添いが必要で仕事を辞め、収入激減で借入をして過ごした事もあるので、癌など長期の高額な治療が続くケースでは今後も国のサポートをお願いしたいです。治療が出来なくなる事もある、家族の生活が脅かされると言う現状を知って頂

きたいです。

- 治療を継続することが困難になる。今でも体調が悪い中治療費を作ること生きることに必死で、引き下げて欲しいくらいです。癌で長生きできる時代になったありがたさと、高額な医療費が長年かかることはイコールであるが、万全に働ける体調で長生きできているわけではない。
- 制度と妻のおかげであまり困窮することなく看取れたのはありがたかったです。あの時さらに経済的に困窮し生きる希望も取り除かれていたらより魅力的な未来を提示する詐欺師に騙されていたり無敵の人のようになっていたかもしれません。おにぎりが食べたかったと静かに餓死した人のようにはならなかったと思います。
- 再発してエンドレスケモになった場合　残された家族のことを考え　途中で治療を諦める事になると思う　家族の預金を全て使ってしまうわけにはいかず　高額療養費を上げるなら　安楽死を日本でも合法化してある欲しい
- 引き上げされれば治療を諦めたり生活保護に頼らなければならなくなる患者が増えるのは目に見えています。再発すれば私もそうなると思います。あまりにも酷く失望しています。
- 長期入院だったので、治療に関してはどうすることもできなかった。医療費が高すぎるのと、大学費用が出せるか心配だった。これ以上上がったらやっていけなかった。
- 治療中で精神的負荷が掛かっているところに、追い討ちをかかられている様で、いい諾々と受け入れられる気持ちになれない。
- 今はほぼ寛解状態ですが、再発の事を思うと他人事ではないと感じます。今の医療制度に限界で引き上げになっているのは納得です。引き上げるのは仕方ないとしてもその分、患者とその家族に対してのサポートを更に手厚くするのは絶対条件だと思います。
- 現在も働くことができてないいため、高額療養費の引き上げに伴い治療の中止を選択しなければいけない可能性が高い。治療を受け続けれるように考え直して欲しい。
- 協会健保で 25000 円以上の医療費支出があった場合、給付があるので困ることはないですが、そうでない方や給付の制度がなくなると長期療養者にとって引き上げは殺人行為と同じです。現役世代、子育て世代の方ががんに罹患し長期療養や高額医療をされているケースが多いのに、なぜこんな制度を打ち出すのか？まったく理解が出来ません。老人の日課のような病院通いや、なんでもかんでも薬をもらい溜め込む方が大きな問題です
- 今は落ち着いているので、医療費の負担が大きくはないが、再発転移したときのことを考えると、前回のような治療はできないと思っている。そもそも、がん保険からの給付がなければ、治療をあきらめていたかも。高額な治療は贅沢と言われているような気がする。
- ベージニオでギリギリ高額療養費に達しないとわかっていたら、治療をしなかった。
- 治療当時は共働きで子どもがおらず、限度額も低かったこと、また休職収入の減少がな

かったので、それほど経済的な不安を感じずに治療することができました。今は小さい子どもがいるので、万一再発したとき、治療費のために仕事を続けられるのか。収入の高い夫が病気になったときに高額な医療費を払い続けられるのか。高い社会保険料を負担しているのに、大病をしてもさらに大きな負担を強いられることに納得がいきません。

- 扶養に入ってなんとかやってますが、高額療養費が引き上げられたら治療は難しくなります。働いた方がいいのか、セーブしたほうがいいのかわかりません。
- 現在、無職で働いたとしてもパートで働くとなると収入が少ない上、今の限度額でも治療代でかなりお金がかかっているので、これ以上限度額が引き上げられると治療を断念するか悩む。
- 高額療養費の引き上げはしないでほしい。ただ困ります、もし再発や転移など見つかれば死を意味します。今でさえホルモン療法や定期的な診察、薬代に苦労しているので高額療養費制度の引き上げには反対です。
- 傷病手当では足りないです。医療費払えません。
- 共働きだから大丈夫と思われてますが、大変です。医療費が上がったらやっていけません。
- 今回の上限引き上げは、仕事や子育てをしながら治療を続ける現役世代に取って、非常に残酷なものです。既に進行してステージ 4 の肺がんとなりましたが、治療が続けられる限りは子供と過ごしたいです。しかし、子供の未来に必要なお金を使うくらいなら、治療を諦めざるをえません。多数該当を据え置いても、直近 12 ヶ月で 3 回以上上限に達しなければそもそも使えません。全面凍結を強く望みます。